

週刊 女川湾海況速報 (No.60)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

9 月 17 日から 20 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して全層で水温は下降。塩分については表層（0m）でやや上昇したが、底層（5m）では下降。経時的に水温は全層で上昇傾向にあり、20日には22℃以上を示した。塩分については17日に全層で33.4以上の比較的高い値を示したあと、18日に下降し、それ以降は低い値で推移。全体的な水温の下降は気温の低下、17日の高い塩分は外洋水の侵入の影響と推定。

水深 [m]	9月17日 (火)	9月18日 (水)	9月19日 (木)	9月20日 (金)
0	21.4 (33.4)	21.7 (29.7)	22.1 (31.5)	22.6 (30.7)
5	20.6 (33.6)	21.6 (32.8)	21.8 (32.6)	22.0 (32.4)

水温の単位は℃。

②濁度：先週と比較して表層で上昇したが、底層では同程度を維持。経時的には17日に全層で高い値を示したあと、18日に一旦下降。
(単位は FTU)

水深 [m]	9月17日 (火)	9月18日 (水)	9月19日 (木)	9月20日 (金)
0	1.2	0.7	0.9	0.9
5	2.6	1.0	1.3	1.2

③溶存酸素：先週と比較して全層で上昇傾向にあり、5~8mg/l 台を示した。経時的には17日に全層で5mg/l 台の低い値を示したあと、徐々に上昇し、20日には8mg/l 台を示した。

水深 [m]	9月17日 (火)	9月18日 (水)	9月19日 (木)	9月20日 (金)
0	5.9	7.1	7.9	8.3
6	5.8	6.9	7.9	8.1

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 20.1~21.9℃、31.3~33.6 の範囲にあった。濁度は 0.8~3.2FTU の範囲にあり、底層（19m）で最大。溶存酸素は 5.7~7.3mg/l の範囲にあり、底層で最小。底層では酸素飽和度が 77%まで下降した。

9月18日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	21.9	31.3	1.0	7.3
5	21.5	32.8	0.8	7.1
10	21.3	33.1	1.2	6.6
15	20.7	33.5	1.4	6.1
19	20.1	33.6	3.2	5.7

本データの利用については、
東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp

までお問い合わせください。